

2020年6月10日

報道関係者各位
プレスリリース

一般社団法人データサイエンティスト協会

「データサイエンスアワード 2019」受賞企業が決定 最優秀賞は株式会社エクサウィザーズ「AI を利活用した社会課題の解決」

ー データサイエンティスト協会がデータ活用によるビジネスや産業への貢献を表彰 ー

一般社団法人データサイエンティスト協会（所在地：東京都港区、代表理事：草野 隆史、以下データサイエンティスト協会）は、「データサイエンスアワード 2019」の最終審査において、最優秀賞として株式会社エクサウィザーズの「AI を利活用した社会課題の解決」を選出したことを発表します。

データサイエンスアワードは、データ分析・活用により国内のビジネスや産業の発展に大きく貢献をもたらしたプロジェクトや企業・団体を表彰するもので、データサイエンティスト協会が 2015 年から主催しています。第 5 回目となる今回も全国の産業界と学術研究機関の双方から多数の応募が寄せられました。今回は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点より、参加者の健康と安全を考慮し応募書類での審査を実施いたしました。

最優秀賞を受賞した株式会社エクサウィザーズは、AI を利活用したサービス開発によって、産業革新と社会課題の解決を目指し、AI の理解促進、企画、開発、実用化の上流から下流まで一気通貫した事業を展開しています。ビジネスで活用されている AI の技術の高さ、現場への踏み込みの深さ、そして課題解決に向けたワンストップサービスの実現など、AI やデータサイエンスをビジネスに生かす上で差別化の要因となる強みを、安心感をもって顧客に提供している点が高く評価され受賞に至りました。アカデミアから様々な業種の企業まで、多様なパートナーとともに AI を用いた社会課題解決に取り組んできた実績には、高いレベルの知識とスキルをもったデータサイエンティストの貢献も大きいと判断されました。

■各ファイナリスト（最終候補者）は、以下のとおりです。（敬称略・五十音順）

株式会社エクサウィザーズ（東京都港区）<https://exawizards.com/>

「AI を利活用した社会課題の解決」

株式会社 TDAI Lab（東京都中央区）<http://tdailab.com/>

「レビュー信頼性スコアリング AI の開発と社会実装に向けて」

テービーテック株式会社（愛知県豊田市）<http://www.tbtech.co.jp/>

「日本初 製造業特化型データサイエンス人材育成」

株式会社 TDAI Lab は、東大発のベンチャー企業として、知識とスキルに優れたデータサイエンティストが、これからの AI 技術開発に最も重要な観点である「信頼性」を情報に付与するために、高度な機械学習の技術開発とその標準化に取り組んでいます。今後、国際的な競争は厳しくなると予想されますが、社会からの期待度は大きいと考えられます。



テービーテック株式会社は、日本の産業の屋台骨にもかかわらずデータサイエンスの導入が立ち後れている製造業の現状に、効果的かつ効率的な人材育成でもって大きなうねりを生み出そうとされる熱意あふれる取り組みに多くの票が集まりました。製造業ならでの労働環境をしっかりと調査され、現場のニーズと制約に対応した現実的な人材育成プランは、データサイエンスの導入が遅れ気味の他の業種にも十分参考になると考えられます。

データサイエンティスト協会理事 樋口 知之(中央大学理工学部 教授)は次のように述べています。

「データサイエンスアワード開催当初の応募状況と比較しますと、昨年度あたりから企業にはずいぶん AI やデータサイエンスが浸透してきたという印象を強くもちました。R&D フェーズを乗り越え、ビジネスとしてしっかりと確立している内容も多くありました。その中で、賞を獲得した企業の応募内容は、今後のデータサイエンティストの活躍の方向性を明確に示す、大変魅力ある内容でした。来年度以降、より多くの企業が、データサイエンティストが活躍できる場作りに熱心に取り組まれることを期待しています。」

今後も、データサイエンティスト協会は、本アワードを通じてデータサイエンティストが活躍できる機会、取り組みを社会に対して啓発し、国内のビジネスや産業の発展を牽引するデータ分析人材が育ち、活躍できる場の拡大に尽力してまいります。

■ 審査員（氏名五十音順、敬称略）

岸代 憲一 : 日本アイ・ビー・エム株式会社 クラウド事業本部 アナリティクス事業部データサイエンス&ビジネス
アナリティクス テクニカルセールス 部長 (*1)

北澤 克樹 : SOMPO ホールディングス株式会社 課長代理/シニアデータサイエンティスト

草野 隆史 : 株式会社ブレインパッド 代表取締役社長

佐伯 諭 : 株式会社電通 デジタルプラットフォームセンター 局長補

佐藤 忠彦 : 筑波大学ビジネスサイエンス系 教授

塩崎 潤一 : 株式会社野村総合研究所 マーケティングサイエンスコンサルティング部 部長

塩谷 周久 : 株式会社金融エンジニアリング・グループ 執行役員 コンサルティング本部 副本部長

シバタ アキラ : DataRobot Japan チーフデータサイエンティスト

谷本 一弘 : 日産自動車株式会社 コネクテッドカー&サービス技術開発本部コネクテッド技術開発&サービス
オペレーション部ビッグデータアナリティクスグループ 担当部長

中林 紀彦 : ヤマトホールディングス株式会社 執行役員

樋口 知之 : 中央大学理工学部 教授

藤原 洋 : 株式会社ブロードバンドタワー 代表取締役会長 兼 社長 CEO (*1)

宮腰 卓志 : 株式会社博報堂 DY メディアパートナーズ メディアマーケットデザイン局 データサイエンス部 部長

(*1) 1次審査のみを実施 ※無印は、1次・最終審査ともに実施

■ 「データサイエンスアワード」について

<https://www.datascientist.or.jp/activity/award/award2019/>

データ分析・活用の有効性を広く社会に啓蒙するとともに、その担い手であるデータサイエンティストの地位向上に寄与することを目的に、データサイエンティスト協会が 2015 年から年 1 回開催しています。受賞者には、データサイエンティスト協会が運営する各種ウェブサイトやイベント・勉強会において、その活動を広く発表できる場など、さまざまな PR の機会を提供いたします。

・2015 年最優秀賞：

全日本食品株式会社「全日食チェーンの取組み」

・2016 年最優秀賞：

国立大学法人九州大学大学院システム情報科学研究院情報知能工学部門 内田研究室
「バイオイメージ・インフォマティクス：生物学と画像情報学のデータサイエンス協働」

・2017 年最優秀賞

学校法人産業能率大学総合研究所、東京地下鉄株式会社
「データサイエンスと働き方改革～安全で効率的なメンテナンスを目指して～」

・2018 年最優秀賞

一般財団法人日本海事協会
「データサイエンティストが活躍できる船舶 IoT データ利活用にかかる実践的取組み」

■ 一般社団法人データサイエンティスト協会について

データサイエンティスト協会は、新しい職種であるデータサイエンティストに必要となるスキル・知識を定義し、育成の支援など、高度 IT 人材の育成と業界の健全な発展への貢献、啓蒙活動を行っています。また、所属を超えてデータ分析に関わる人材が開かれた環境で交流や議論をし、自由に情報共有や意見発信ができる場を提供しています。2020 年 6 月現在、111 社 15 団体の法人会員と約 14,000 名の一般(個人)会員が参画しています。

代表理事：草野 隆史(株式会社ブレインパッド 代表取締役社長)

所在地：東京都港区白金台 3-2-10 白金台ビル

設立：2013 年 5 月

<http://www.datascientist.or.jp/>

* 本プレスリリースに記載されている会社名・商品名は、それぞれの権利者の商標または登録商標です。

* 本プレスリリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。

最優秀賞を受賞した株式会社エクサウィザーズへのご取材を承ります。ご希望の方は、以下連絡先までお問い合わせください。

【本件に関するお問い合わせ先】

一般社団法人データサイエンティスト協会 事務局 小島

TEL : 03-6721-9001 / Email : info@datascientist.or.jp